

# KENWOOD

CDレシーバー

## RX-591CD

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

ソースセレクション

CD/Changer モード

TUNER モード

Name Set

● 使いこなし!  
ファンクショナルオペレーション

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Functional Operation

Menu

● ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

オプション

Help ? Operation  
? Word Help

# Contents

ここを読まなければ操作できない！  
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた

本書の読みかた .....4

安全上のご注意 .....6

使用上のご注意 .....8

CDの取り扱い .....10

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation

CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた .....12

思ったとおりに動作しなかったとき  
わからない用語が出てきたら...  
困ったときのお助けページ！

## Help

Help? Operation .....36

Help? Word .....42

取り付け方法など

## 付 録

取り付け時のご注意 .....44

接続 .....46

取り付け .....48

保証とアフターサービス .....49

仕様一覧 .....50

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

ソースセレクション .....14  
ソース選択

CD/Changer モード .....15

トラックサーチ  
ディスクサーチ  
マニュアルサーチ  
ポーズ  
トラック/ディスクリピートプレイ  
スキャンプレイ  
ランダムプレイ  
マガジンランダムプレイ  
テキストスクロール

TUNER モード .....18

バンド切り替え  
チューニング  
オートメモリー  
マニュアルメモリー  
プリセットチューニング

Name Set .....20

DNPS (ディスクネームプリセット) /  
SNPS (ステーションネームプリセット)  
AUX1ネームセレクト

ディスプレイコントロール .....22

ディスプレイ表示切り替え  
パネル取り外し  
パネル取り付け

オーディオコントロール .....24

オーディオコントロール  
ノンフェーダー出力設定  
dB EQUALIZER  
スピーカーマッチング設定

Menu .....26

メニュー設定  
セキュリティコード  
時計調整  
イルミカラーコントロール

オプションも使いこなそう！ オプションズ

# Options

TV コントロール .....34

- チャンネル選択
- バンド/ビデオ切り替え
- プリセットコール
- 音声多重切り替え

ソースセレクション

CD/Changer モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

Menu

オプション

Help

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!  
イーザーオペレーション

## EZ Operation

すぐに使いたいたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

## Options

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。

別売品を接続しているときにお読みください。

## Help

? Operation

思ったおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付けけ方法などを説明した【付録】があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

## 本文でのマークについて



### 共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



### CDの操作

CDをプレイする操作を表しています。



### チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



### 注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



### メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。

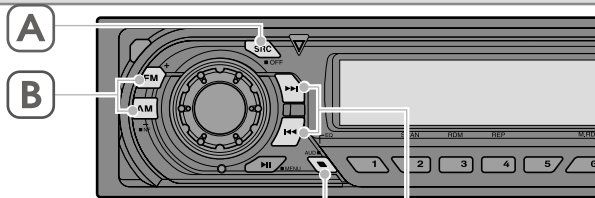


### 1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。  
通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。



この辺ボタンABC…  
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

### ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

**A** SRC

押すたびに次の順で切り替わりま

- TUNER FM/AM放送を受信
- CD CDをプレイ
- ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

ディスプレイ表示スクロール  
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表示します。

内容の説明

表示される文字または内容

### オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

#### 1 設定したいソースにします

**A** SRC

ディスプレイ表示  
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

#### 2 オーディオコントロール

**C** AUD 1秒

Bass 0

オーディオコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

- ソースセレクション
- CD/Changer モード
- TUNER モード
- Name Set
- ディスプレイコントロール
- オーディオコントロール
- Menu

オプション

Help

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」  
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



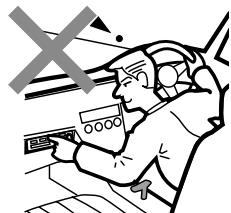
実施

Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

## 警告



実施

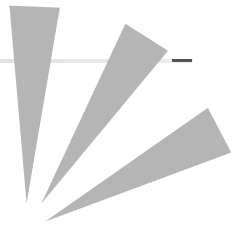
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



## ⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



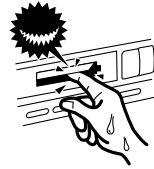
### 禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

ディスク挿入口に手や指を入れしないでください。ケガをすることがあります。



### 禁止

本製品内に水や異物を入れしないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



### 禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



### 禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



### 実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

# 使用上のご注意

## 本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーやLX-BUS接続のTVモニターが接続できます。接続できるディスクチェンジャー/TVモニターの機種はカタログをご覧ください。

1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとTVモニターを1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

## 取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

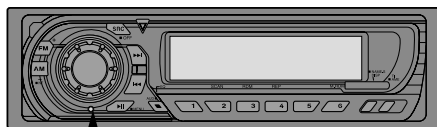
## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.36)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

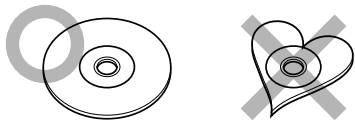
このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。




## 使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

本機でプレイ可能なディスクは  マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

## 本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧ください。なお、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

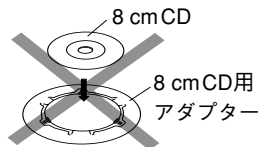
## CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

# CDの取り扱い

## CDの取り扱いについて

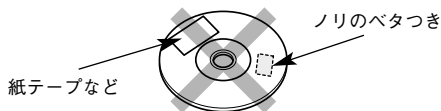
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い  
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが  
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ  
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。  
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ  
などにも書かれています。それらの注意事項も読  
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー  
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど  
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは  
お使いにならないでください。そのままCDプレー  
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障  
することがあります。



## CDの保存

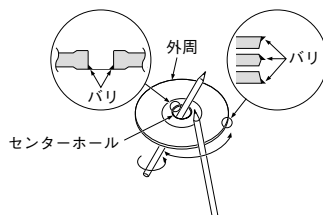
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの  
上)など、温度が高い場所には置かないでください。  
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、  
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時  
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し  
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース  
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保  
存しないでください。

## 新しいCDを使うときは

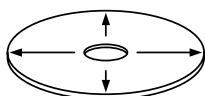
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや  
外周部に"バリ"がないことを確認してください。  
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できな  
かったり音飛びの原因になります。"バリ"がある  
ときは、ボールペンなどで取り除いてから使用し  
てください。



## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

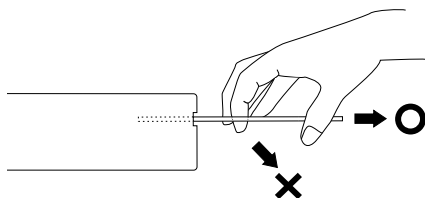
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



## CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

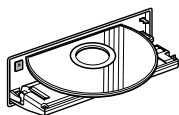


CDのプレイは簡単！ CDを差し込むだけです。



CDをプレイするときは…

☑を押して操作パネルを開き、プレイするCDを差し込みます。差し込んだCDがプレイされます。

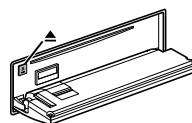


CDを取り出すときは…

イジェクトボタンを押します。



- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。



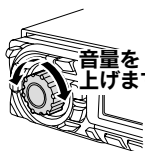
FM放送のバンド (FM1/FM2) に切り替えます。



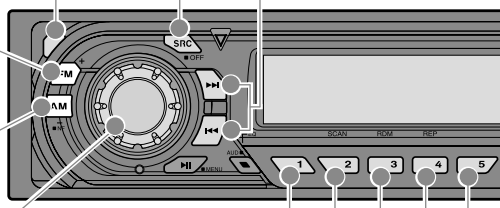
AM放送のバンド (AM1/AM2) に切り替えます。



音量を下げます。



音量を上げます。



メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押しすと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。



注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 本機の電源をオンにすると、初めに“CODE OFF”と表示されます。セキュリティコード (28ページ) を設定すると以降は“CODE ON”表示に変わります。



CDの操作



チューナーの操作



共通の操作



### 電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、電源がオフになります。



### CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、CD、FM/AM放送、OFFに切り替わります。



### プレイする曲を選択します。

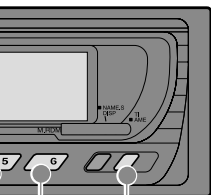


### 受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。チューニングモードの設定により、メモリーしている放送局を順に受信するようしたり、周波数を1ステップずつ変えたりできます。(18ページ)



### 交通情報の周波数を(1620KHz/1629KHz/522KHz) 切り替えます。



### 交通情報を受信します。

もう一度押すと元に戻ります。交通情報を受信中はTIインジケーターが点灯します。



交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信すると自動的にこの音量になります。

Functional Operation

ソースセレクション

CD/Changer モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

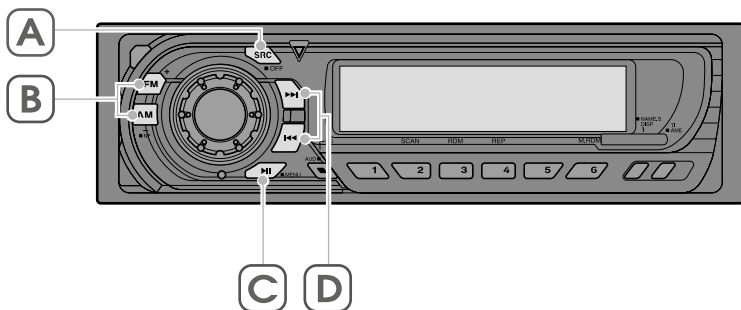
Menu

EZ Operation

オプション

Help

# ソースセレクション

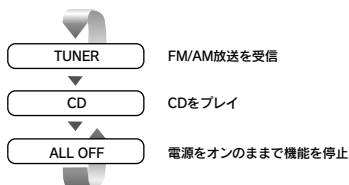


## ソース選択

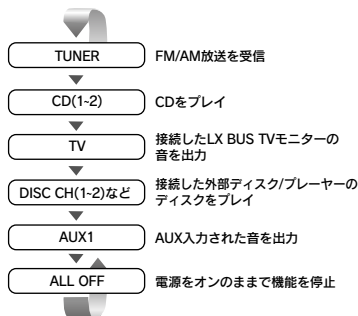
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



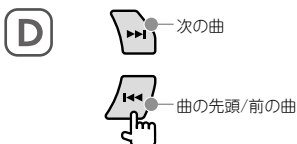
- AUX入力ソースモード (“AUX1”) を使用するためには、別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXが必要です。
- “AUX1” 表示は「AUX1ネームセレクト」(21ページ)で替えることができます。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例  
“DISC CH(1~2)” :ディスクチェンジャー  
“HDD EXT” :HDX-700など

プレイするソースを選びます。  
CDと別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

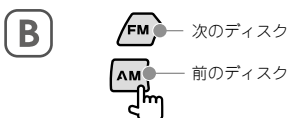
## トラックサーチ

順に曲を選びます。



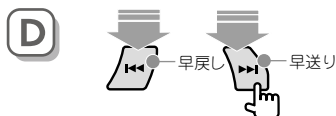
## ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

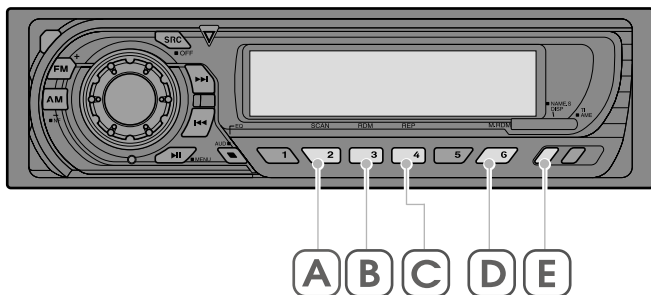
## ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

# CD/Changer モード

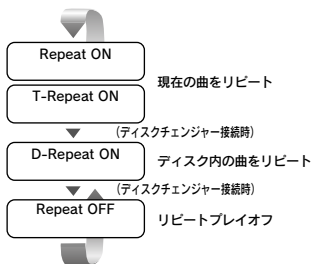


## トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。  
トラックリピートプレイ中はトラックナンバーが点滅し、ディスクリピートプレイ中はディスクナンバーが点滅します。



## スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

### 1 スキャンプレイを開始します



### 2 聴きたい曲のところ...



その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、スキャンプレイは、自動的に終了します。



## ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はトラックナンバーが点滅します。

💡 を押すと、次の曲をランダムに選択します。

## マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイがオンのときはトラックナンバーとディスクナンバーが点滅します。

💡 を押すと、次の曲をランダムに選択します。

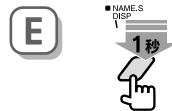
## テキストスクロール

ディスプレイに表示されるテキストを、スクロール設定が「MANU」のときにテキストをスクロールさせます。

### 1 テキスト表示にします

「ディスプレイ切り替え」(22ページ)を参照して、テキスト表示にします。

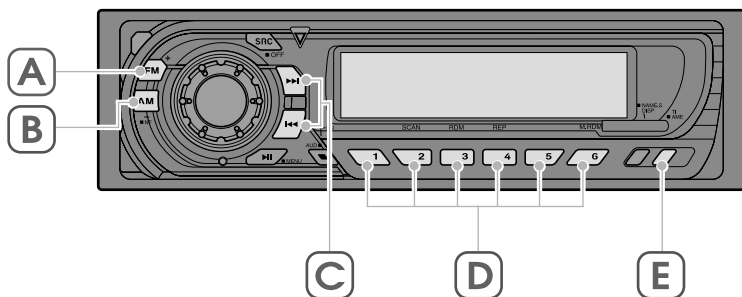
### 2 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール設定を「Auto」にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール選択の方法は、「メニュー設定」(26ページ)を参照してください。
- スクロール可能なテキスト表示については、「Help ?Word」の「Scroll」(43ページ)を参照してください。

# TUNER モード



## バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



## チューニング

受信する放送局を選びます。

### 1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

### 2 放送局を選びます



**チューニングモードがオート1のとき**  
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。  
途中で解除するときは、もう一度押します。

**チューニングモードがオート2のとき**  
メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は次ページを参照してください)

**チューニングモードがマニュアルのとき**  
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニュー設定」(26ページ)で変更ができます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

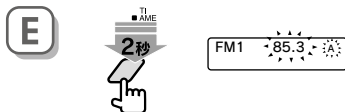
## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

### 1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

### 2 オートメモリーします



- 周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。
- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。  
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

### 1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

### 2 放送局を選びます



### 3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1 84.7

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

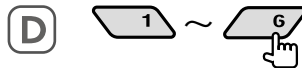
## プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

### 1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

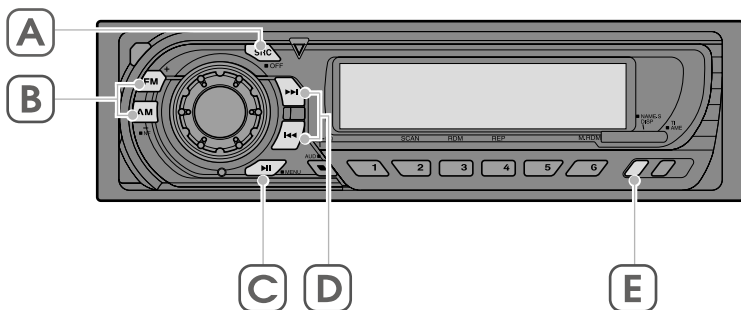
### 2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1 83.0 3

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

# Name Set

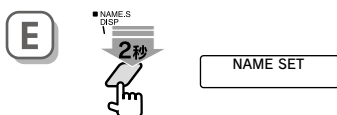


## DNPS (ディスク名前プリセット) / SNPS (ステーション名前プリセット) CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

### 1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- ディスプレイに、ディスクトラックタイトル、を表示中は、DNPSは行えません。上記以外の表示を選択しておいてください。
- 交通情報モードを受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。
- MDIにDNPSを行うことはできません。

### 2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET” と表示されるまで、押し続けます。

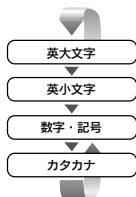
### 3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



### 4 文字の種類を選びます



押すたびに、次の順で切り替わります。



### 5 文字を選びます



### 6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

### 7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外したり、リセットボタンを押すとSNPSは消去されます。DNPSは接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーの機種によっては消去される場合があります。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- 名前はDNPSで12文字まで、SNPSで8文字まで登録できます。
- SNPSで登録できる局数はFM放送局32局、AM放送局で16局です。
- 本機にDNPSで登録できる枚数は30枚です。また、接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーにDNPSできる枚数は機種により異なります。詳しくは、CDチェンジャーまたはCDプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

FM/AM放送局やCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャー/CDプレーヤーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。  
また、AUX1モードのときに表示される名前を設定できます。

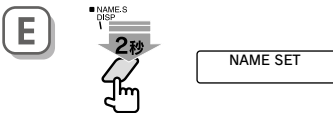
## AUX1ネームセレクト

AUX1に切り替えたときの表示を設定します。

### 1 AUX1ソースにします



### 2 ネームセットモードに入ります

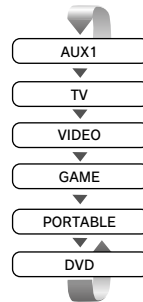


“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

### 3 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

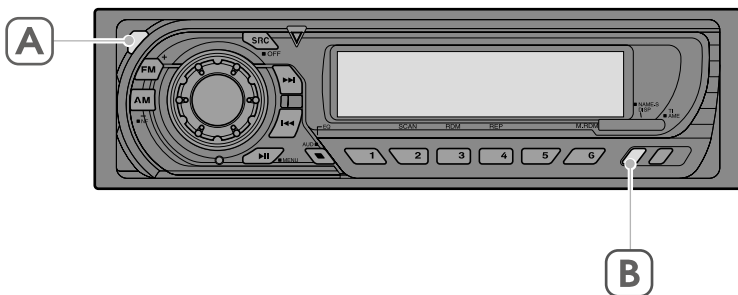


### 4 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機を外すと、AUX1ネームは“AUX1”に戻ります。

# ディスプレイコントロール



## ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

**B**



押すたびに次の順で切り替わります。



TV時



AUX時



- DNPS: ディスクネームプリセット (20ページ)
  - SNPS: ステーションネームプリセット (20ページ)
- なお、CDプレイ時のディスクタイトルはディスクテキスト、トラックタイトルはトラックテキストが表示されます。
- ディスクトラックタイトルが記録されていないディスクを再生中にディスク/トラックタイトル表示に切り替えると、演奏時間が表示されます。

ディスプレイに表示される情報を切り替えたり、パネルの取り外しもできます。パネルを取り外すと、盗難防止用警告ランプが点滅し盗難防止の手助けとなります。

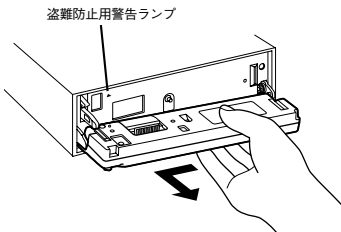
## パネル取り外し

操作パネルを取り外します。

### 1 操作パネルを開けます



### 2 操作パネルを取り外します



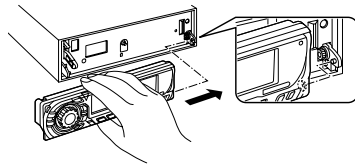
パネルを左側に押しながら右側を手前に引きます。

- 電源がオンの時にパネルを取り外すと電源がオフになります。
- 「メニュー設定」(26ページ)の“DSI”項目が“ON”になっていると、盗難防止用警告ランプが点滅します。

## パネル取り付け

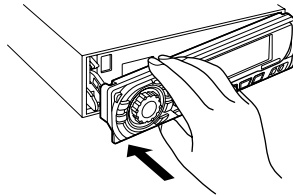
操作パネルを取り付けします。

### 1 操作パネルを合わせます



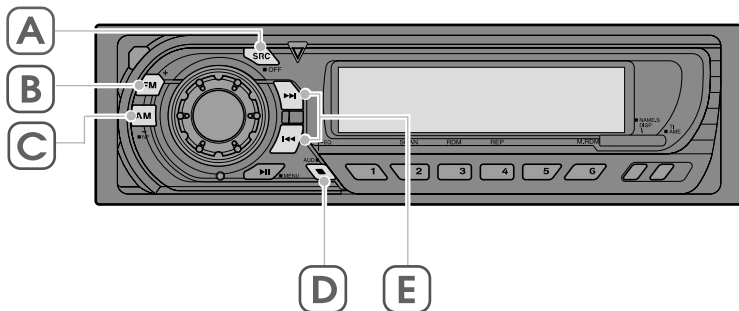
パネル右側のくぼみを本体右側のシャフトに合わせます。

### 2 操作パネルを取り付けます



パネル左側を本体に合わせてロックします。

# オーディオコントロール



## オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

### 1 設定したいソースにします

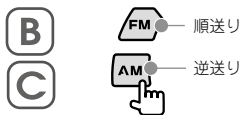


### 2 オーディオコントロールモードにします



オーディオコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

### 3 設定する項目を選択します



### 4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bass (低音の音量レベル)	-8 ~ +8
Middle (中低音の音量レベル)	-8 ~ +8
Treble (高音の音量レベル)	-8 ~ +8
Balance (左右の音量レベル)	L[左]15~R[右]15
Fader (前後の音量レベル差)	R[後]15~F[前]15
NF Level (ノンフェダープリアウト出力レベル)	-15 ~ +15
HPF (低音カット)	THRU/100/125 /170 (Hz)
LPF NF* (ノンフェダー高音カット)	50/80/120 /THRU (Hz)
V-Offset* (ソース間のレベル差)	-8 ~ 0
LOUD (低音音と高音音の強調)	ON/OFF



音量バランスの設定などをします。

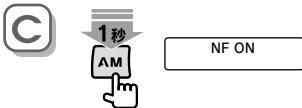
- “Bass”、“Middle”、“Treble” および “V-Offset” の値は、各ソースごとに設定できます。
- “Bass”、“Middle”、および “Treble” の値は、dB EQUALIZERで設定した値に置き換えられます。
- \*マークが付いた項目の詳細機能については、「Help ?Word」(42ページ) をご覧ください。
- “NF Level” と “LPF NF” は「メニュー設定」(26ページ) の “SWPRE” 項目が “N-Fad” に設定されていて、「ノンフェーダー出力設定」が “NF ON” のときに設定できます。
- “NF Level”、“HPF” および “LPF NF” は「メニュー設定」(26ページ) の “Zone 2 (ON/OFF)” 項目が “OFF” に設定されているときに設定できます。

## 5 オーディオコントロールを終了します



## ノンフェーダー出力設定

ノンフェーダー出力のオン/オフを切り替えます。



1秒以上押すたびに、ノンフェーダー出力がオン/オフします。

- ノンフェーダー出力設定は「メニュー設定」(26ページ) の “SWPRE” 項目が “N-Fad” のときに設定できます。

## dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

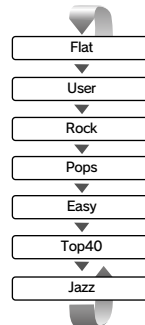
### 1 設定したいソースにします



### 2 dB EQUALIZERを選択します

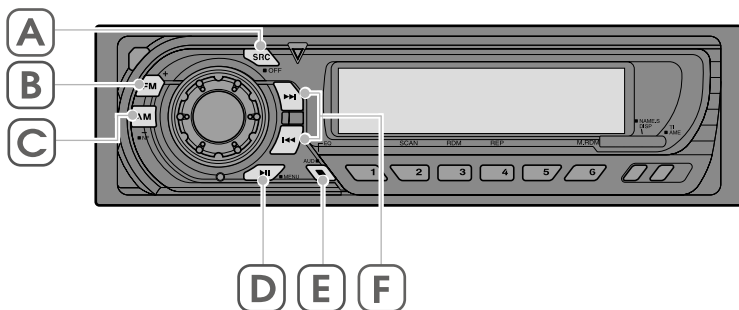


押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。



- 「dB EQUALIZER」はFM放送、AM放送、CD、DISC、AUX1の各ソースごとに設定できます。
- “User”は「オーディオコントロール」(前ページ) で設定した値を呼び出します。

# オーディオコントロール



## ● スピーカーマッチング設定

音質をスピーカーに合わせて微調整します。

### 1 ALL OFFモードにします



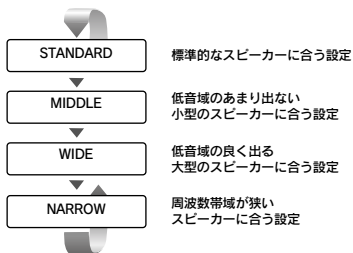
### 2 スピーカーマッチングモードにします



### 3 スピーカーの選択をします



押すたびにスピーカーの設定が以下のように切り替わります。



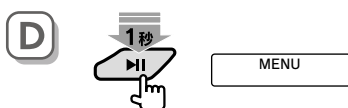
## ● メニュー設定

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

### 1 設定する項目があるソースにします

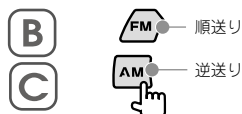


### 2 メニューモードにします



“MENU” と表示されるまで、押し続けます。

### 3 設定項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

### 4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

- \*マークが付いた項目の詳細機能については、「Help? Word」(42ページ) をご覧ください。  
また、「Zone 2 (Rear/Front)」および「Zone 2 (ON/OFF)」項目は「Dual Zoneシステム」を参照してください。

本機のいろいろな機能を設定します。

### 全ソース中

設定項目	設定値
Beep* (ビーブ音)	ON/OFF
Clock Adjust (時計調整)	設定の方法は30ページをご覧ください。
DSI* (LED点滅設定)	ON/OFF
Button (ボタン色の設定)	Green/Red
Display* (ディスプレイタイプの選択)	A/B/C
COL (ディスプレイ表示色の設定)	設定の方法は32ページをご覧ください。
Contrast* (ディスプレイの文字のコントラスト調整)	0~5~10
Dimmer* (車両ライトスイッチがオン のときの減光を設定)	ON/OFF
Zone 2* (2ゾーン音声出力設定)	Rear/Front
Scroll* (タイトル/テキスト スクロール設定)	Auto/MANU

(太字は初期設定値)

- “Zone 2 (Rear/Front)” 項目は、ディスクチェンジャーまたはAUX1モード中の “Zone 2 (ON/OFF)” 項目が “OFF” のときに設定ができます。
- “Zone 2 (ON/OFF)” 項目が “ON” のときは、ノンフェーダーから音声は出力されません。

### ALL OFF モード中

設定項目	設定値
Security* (セキュリティコードの登録設定)	設定の方法は28ページをご覧ください。
SWPRE* (プリアウト出力選択)	Rear/N-Fad
Guide* (ナビ音声ガイド時のアッテネート設定)	OFF/ATT

(太字は初期設定値)

### TUNER モード中

設定項目	設定値
Auto* (チューニングモード)	Auto 1/ Auto 2/ Manual
MONO* (FM放送モノラル受信)	ON/OFF

(太字は初期設定値)

### Changer/AUX1 モード中

設定項目	設定値
Zone 2* (2ゾーンオン/オフ設定)	ON/OFF

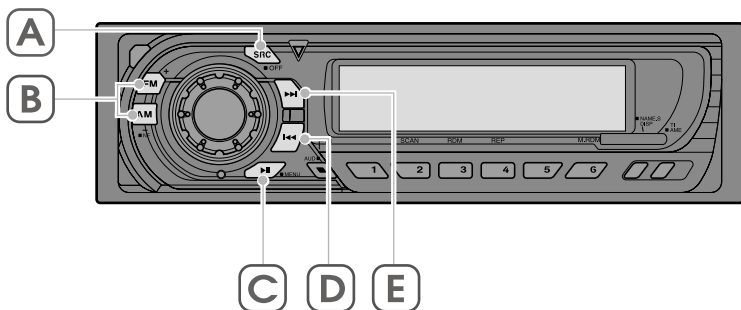
(太字は初期設定値)

- f-LZ77 (別売品) を接続して、TVソースを選択しているときに、“Zone 2 (ON/OFF)” 項目を “ON” に設定するとTVソースの音は出力されません。

### 5 メニューセットを終了します



# Menu



## セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

### 1 ALL OFFモードにします



### 2 メニューモードにします

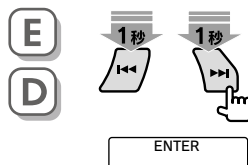


“MENU” と表示されるまで押し続けます。

### 3 セキュリティコード項目を選択します

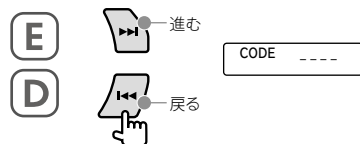


### 4 セキュリティコード入力を開始します

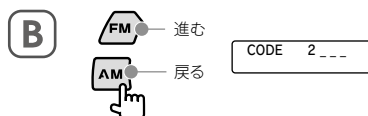


または を “ENTER” と表示されるまで押し続けます。

### 5 コード入力桁を選択します



### 6 コードを選択します

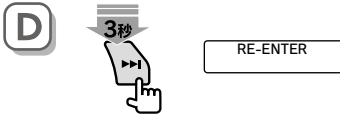


### 7 セキュリティコードを完成させます

手順5～6を繰り返して4桁のセキュリティコードを完成させます。

セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したりしたときの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。盗難防止の手助けとなります。

## 8 セキュリティコードを登録します



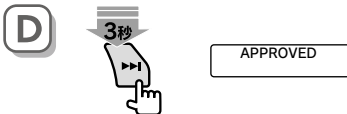
“RE-ENTER”と表示されるまで押し続けます。

## 9 セキュリティコードを再度入力します

確認のためセキュリティコードを手順5～6の方法で再度入力します。

- 手順5～6と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

## 10 セキュリティコードを再度登録します



“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

## 11 セキュリティコードの登録を終了します

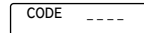


メニューセットを終了するときは、もう一度押します。

セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

## 1 セキュリティコード入力状態にします



電源をオンにしてから、“ENTER”が表示された後に“CODE----”が表示されます。


## 2 セキュリティコードを入力します

前記の手順5～6の操作を繰り返して4桁のセキュリティコードを入力します。

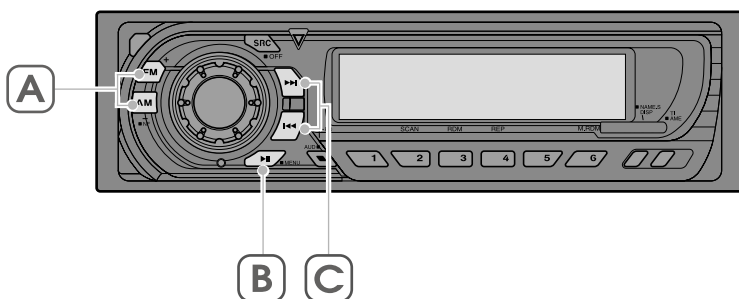
## 3 セキュリティコードを確認します



“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

# Menu



## 時計調整

時刻を合わせます。

### 1 メニューモードにします

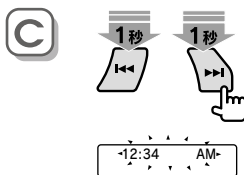


“MENU” と表示されるまで押し続けます。

### 2 時計調整項目を選択します



### 3 時刻合わせを開始します



◀ または ▶ を時計が点滅表示されるまで押し続けます。

### 4 “時” を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる



### 5 時刻合わせを終了します

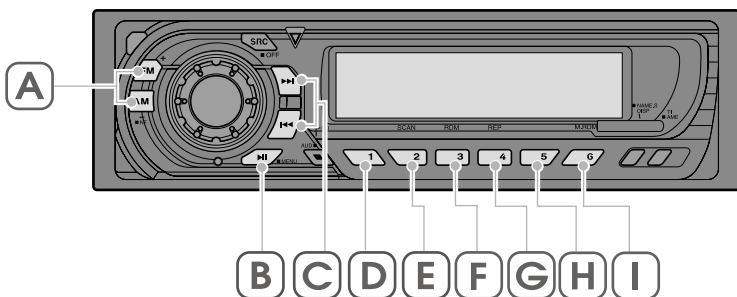


分を調整した時は、“00” 秒からカウントがスタートします。

メニューモードを終了するときには、もう一度押します。

時計表示の時刻を合わせます。

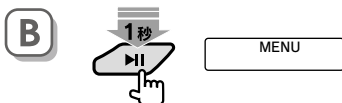
# Menu



## イルミカラーコントロール

ディスプレイのイルミネーション色を選択します。

### 1 メニューモードにします



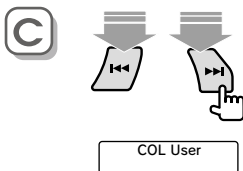
“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

### 2 イルミカラー設定項目を選択します



### 3 色を調整します

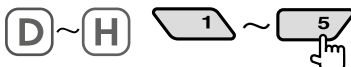
色を連続的に切り替えます



押し続けると、ディスプレイの表示色が変わり続けます。好みの色のところで手を放します。

色を連続的に切り替えて設定した値は、ユーザーカラーとしてメモリーされ、**5**を押すと呼び出すことができます。

メモリーされている色を呼び出します



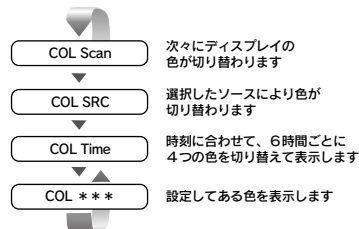
各ボタンで選択できる色は次のとおりです。

- 1** : ホワイト
- 2** : レッド
- 3** : ブルー
- 4** : ブルーグリーン
- 5** : ユーザーカラー

カラーモードを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



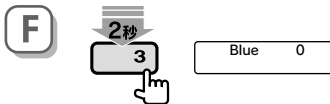
“COL \*\*\*”は、カラーモードを選択する前の色を表示します。



ディスプレイのイルミネーション色をいろいろな方法で設定します。

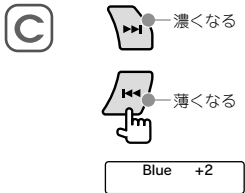
### ブルーの微調節をします

#### 1. ブルーの調節モードに入ります



“Blue \*\*”と表示されるまで押し続けます。

#### 2. ブルーを微調節します

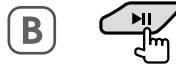


−5～+5の間で薄い青から濃い青へと切り替わります。

#### 3. ブルーの微調節を終了します

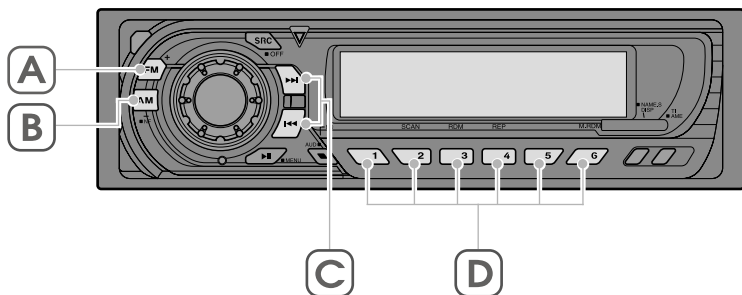


#### 4. メニューセットを終了します



- メニューモードを終了せずに、引き続き または で「メニュー設定」(26ページ)の別の項目設定も行えます。

# TVコントロール



## ● チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。  
詳しくは、TVモニター取扱説明書を参照してください。

## バンド／ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

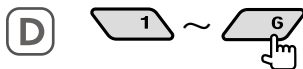
## ● プリセットコール

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

### 1 バンドを選択します



### 2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



メモリーボタン（1～6）にチャンネルをメモリーする方法は、接続しているTVの取扱説明書をご覧ください。

別売品のLX BUS TVモニター“HDX-700”などが接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

### 音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



# Help ? Operation

## 電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。

## 音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

## 操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルが開いている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

## 音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

## チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

## SRCボタンを押しても、DISC CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(46ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

## 音が途切れる

- CDをイジェクトしている。
- CDのイジェクト動作中は、一時的に音が出なくなります。イジェクト動作が完了すると元通りに音が出ます。

## ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

- FM/AM放送を聴いている。
- チューナーモードでは低音のみが強調されます。

## ディスプレイが希望通りの色にならない

車内の環境（温度変化など）により、通常の色と異なることがあります。

## CD/External Disc mode

### SRCボタンを押してもCDに切り替わらない

ディスクがセットされていない。

プレイするディスクをセットしてください。

### CDが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

### CDのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が $30^\circ$ を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- $30^\circ$ 以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中에서도音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

### CDをプレイできない

- CDが裏返しになっている。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(16ページ)

### 曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(16ページ)

### チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

## 曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

## ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

## CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD イジェクトボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

## 文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

## マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

## リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

## CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

## CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

## ディスクチェンジャーでトラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

## ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンしてからイジェクトボタンを押してください。

## ディスクチェンジャーモードを選択しても“AUX1”と表示される

● O-NスイッチをO側にしている。  
● 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

● O-NスイッチはN側に設定してください。  
● 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。

## Name Set

### DNPSができない

● 別売品のMDチェンジャーでMDをプレイしている。  
● ディスクタイトル、トラックタイトル表示になっている。

● 別売品のMDチェンジャーではMDにDNPSはできません。  
● ディスクタイトル、トラックタイトル表示以外の表示を選択しておいてください。

### DNPS表示にしても“NO NAME”と表示される

ディスク名前が登録されていない。

ディスク名前を登録してください。(20ページ)

### 登録したはずのステーション名前が消えた

● FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーション名前を登録した。  
● 車両のバッテリーを交換などしたため。  
● 本機のリセットボタンを押したため。

● 登録できるステーション名前はFM放送で32局、AM放送で16局分です。  
● 本機をバッテリーから外すとステーション名前は消去されます。  
● 本機のリセットボタンを押すとステーション名前は消去されます。

### 登録したはずのディスク名前が消えた

登録できる枚数以上のディスク名前を登録した。

本機に登録できる枚数は30枚までです。登録できるディスク名前は接続されたCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。

### ディスク名前がまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

## Menu

### Security項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、メニュー設定項目から削除されます。

### セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。



## 無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- E-04** : ●ディスクが異常に汚れている。  
●ディスクが裏返しになっている。  
●ディスクに傷が多く付いている。  
●ディスクが入っていない。  
●トレイが入っていない。
- E-12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。  
➡データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。  
●ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- NO DISC** : ディスクが入っていない。
- NO NAME** : ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- E-11** : MDチェンジャーで演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- E-10** : MDチェンジャーで演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- E-05** : ディスクが裏返しになっている。
- E-15** : ディスクに本機で再生できるデータが入っていない。
- NO ACCESS** : ディスクチェンジャーに入れてから1回もプレイしていない状態でSBFを行った。

## システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。  
➡本機のリセットボタンを押してください。"E-77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : 本機のCDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。  
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。  
●何らかの原因で正常に動作していない。  
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- IN (点滅)** : CDプレーヤーが正常に動作していない。  
➡▲ボタンを押してCDを取り出してください。CDが取り出せない、またはCDを入れ直しても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

# Help ? Word

---

## Auto 1/2/Manual

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

---

## Beep

(ピープ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1～3秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ピープ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

---

## Contrast

(コントラスト)

文字のコントラストを設定することができる機能です。

---

## Dimmer

(ディマー)

電源ハーネスのイルミネーションが接続されている時にこの機能を“ON”に設定しておくこと、車両のライトスイッチをオンにしたときに、自動的に本機のディスプレイが暗くなります。

---

## Display A/B/C

(ディスプレイA/B/C)

ディスプレイに表示させる情報を3つのタイプに切り替えられます。

Display A：通常のディスプレイ表示

Display B：サイレントモード

(スベアナ部などが消灯します)

Display C：デモンストレーションモード

---

## DSI

(ディスプレイシステムインジケータ)

この機能をオンにしておくこと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

---

## Dual Zoneシステム

(デュアルゾーンシステム)

本機では、別売品のディスクチェンジャーやKCA-S210Aを接続したときにフロントチャンネルとリアチャンネルで異なるソースの音を出力することができます。

まず、メニュー設定“Zone 2 (Rear/Front)”でフロントおよびリアから出力するソースの音声を設定します。

Front：フロント... ディスクチェンジャーまたはAUX1ソースの音声を出力

リア..... CDまたはTUNERソースの音声を出力

Rear：フロント... CDまたはTUNERソースの音声を出力

リア..... ディスクチェンジャーまたはAUX1ソースの音声を出力

次に、“Zone 2 (ON/OFF)”でDual Zoneシステムのオン/オフを設定します。

ON：フロントとリアで異なるソースの音声を出力

OFF：フロントとリアで同じソースの音声を出力

なお、Dual Zoneシステムを“ON”に設定している場合は、オーディオコントロールなどのサウンドエフェクトはCDまたはTUNERソースだけにかかりません。

---

## Guide

### (ガイド)

この機能を“ATT”にしておく、カーナビゲーションの音声案内中に、オーディオの音を小さくすることができます。

なお、この機能はケンウッド製以外のカーナビゲーションを使用すると誤動作をすることがあります。

---

## LPF NF

### (ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低音のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。

“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

---

## LX BUS TVモニター

### (エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニター（HDX-700、f-LZ77など）です。

---

## MONO

### (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

---

## Scroll

### (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストを選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“AUTO”に設定しておく、スクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようになります。

---

## Security

### (セキュリティー)

セキュリティーコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティーコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティーコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

---

## SWPRE

### (スイッチングプリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力（ノンフェーダー出力“N-Fad”）に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないでサブウーファー用の出力に活用できます。

---

## V-Offset

### (ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“V-Offset”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

---

## ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520、KDC-C510、KDC-C506など）、MDチェンジャー（KMD-C30、RJ-480など）です。

# 取り付け時のご注意

## 警告



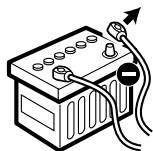
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V $\ominus$ アース車専用です。



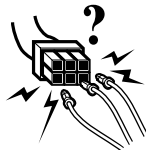
実施



配線作業中は、バッテリーの $\ominus$ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

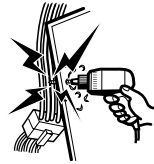
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

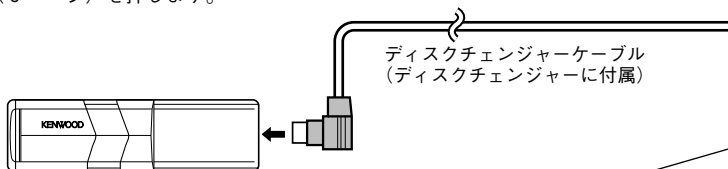
# 接続



初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。



- 別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーに“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

ヒューズ (10A)

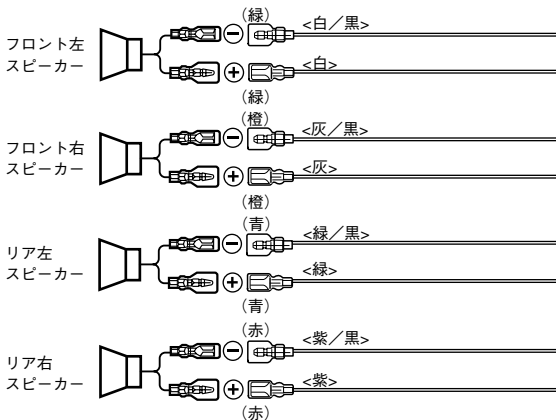
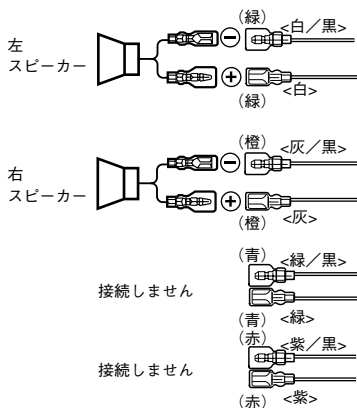
電源  
ハーネス  
(付属)



注意

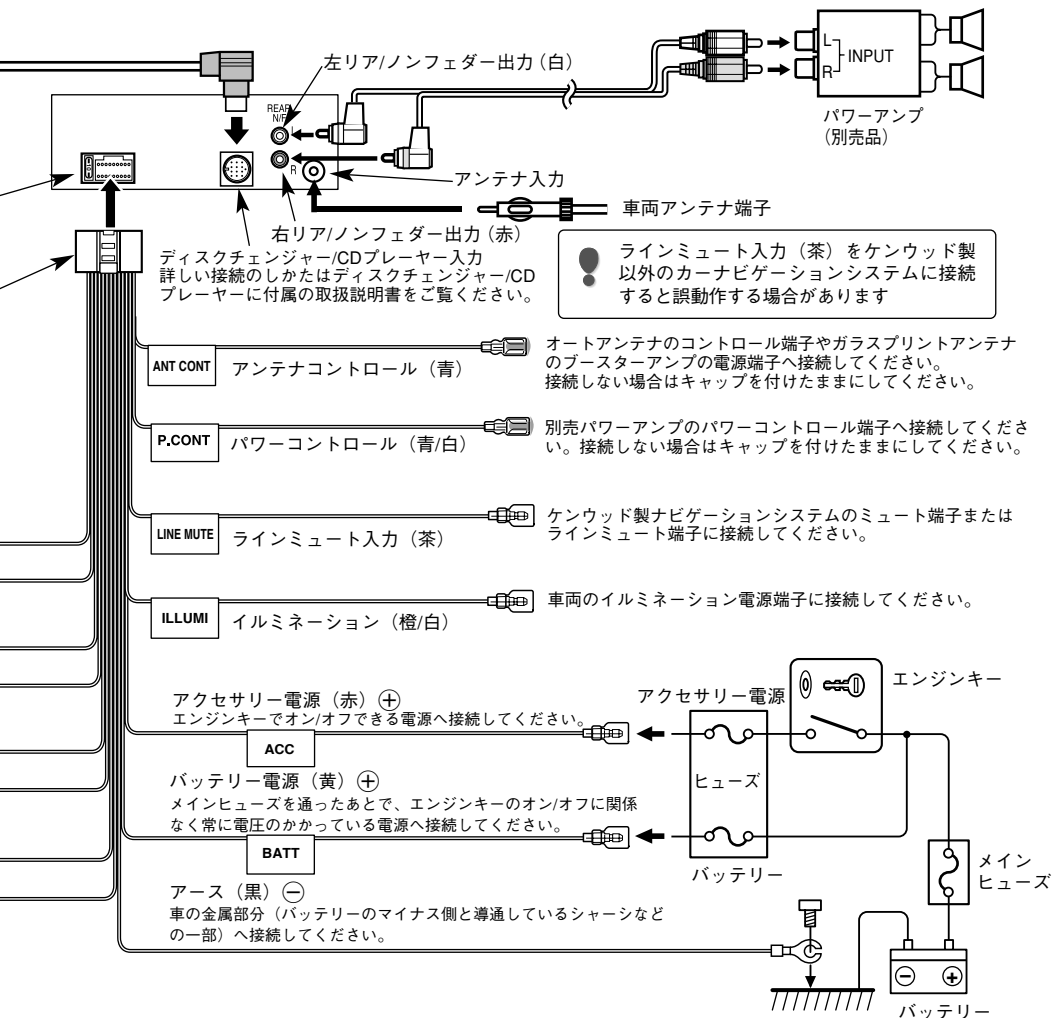
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

## 2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



# 取り付け

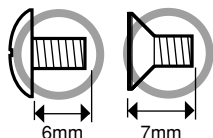
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



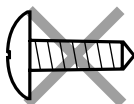
**取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ



その他のネジ

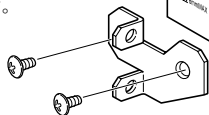


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm) .....	4
	サラネジ (M5 × 7mm) .....	4
	セムスネジ (M4 × 8mm) .....	1

セムスネジ  
(M4 × 8mm) (付属)

● 別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

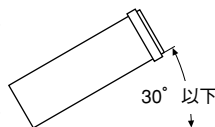


トラスネジ  
(M5 × 6mm) (付属)  
または  
サラネジ  
(M5 × 7mm) (付属)

車両ブラケットなど



- 本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因やパネルの開閉に支障をきたすことがあります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



● 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。



# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオ・セパレーション	40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB $\mu$ (25 $\mu$ V)

## CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs( $\lambda=780$ nm)
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	105 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	96 dB

## オーディオ部

最大出力	50 W $\times$ 4
定格出力	22 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 1kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	2.0 V/10 k $\Omega$ (CD/CD-CH)
プリアウトインピーダンス	600 $\Omega$ 以下
トーン・コントロール (低音)	100Hz $\pm$ 10dB
(中音)	1kHz $\pm$ 10dB
(高音)	10kHz $\pm$ 10dB

## 電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 160 mm
質量 (重さ)	1.2 kg

## 付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 $\times$ 6mm)	4本
サラネジ (M5 $\times$ 7mm)	4本
セムスネジ (M4 $\times$ 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。



---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。  
カスタマーサポートセンター (東京) 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22  
受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、  
最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。